

研究内容と産業分類のマッチング表

研究者	鉄	金	電	非	エネ	資	複	無	バ	有	情	ソ
	鉄鋼業	精密機械製造業 金属製品・機械・ 電子デバイス製造業	半導体・電子材料・ 電子デバイス製造業	非鉄金属製造業	エネルギー関連産業	資源環境関連 素材産業	複合材料製造業	無機化学工業	バイオ・医薬	有機化学工業	情報通信業	ソフトウェア開発業
三原 毅	●	●			●							
森戸 茂一	●	●										
宮本 光貴		●			●							
清水 一道	●	●				●						
フム・ホアン・アン	●	●		●								
辻 俊宏		●	●									
榎木 勝徳	●			●								●
笹井 亮						●	●	●				
田中 秀和						●	●	●				
尾原 幸治				●			●	●				
八代 圭司					●	●		●				
廣井 慧				●			●	●				
藤崎 貴也					●			●				●
森本 展行							●		●	●		
戸井田 さやか						●	●		●			
崔 允寛						●			●	●		
澤野 卓大						●			●	●		
藤原 融											●	●
日下 卓也											●	●
阪井 祐太											●	●
清水 希容子											●	●

産業と研究のマッチング（産業振興・地方創生）

About

材料エネルギー学部について

産業振興に資する工業系新学部

三原 毅（材料エネルギー学部長）



材料エネルギー学部は、産業振興をミッションに、島根大初の工学部として、県内製造業の40%を占める素材産業に的を絞り、カーボンニュートラル等のエネルギー問題を材料技術で解決する教育・研究を行う、ユニークな学部であると共に、新しい産業を島根から発信することを目指します。本学部の発足を契機に、島根県、企業、島根大学が同じ方向を向いて、大学が教育・学術機関であると共に地域産業振興の拠点として如何に貢献できるかは、全国的に注目される試金石になると認識しています。新学部の教育・研究体制、官民の共同研究の成果に是非ご注目頂きながら、さらに皆様も新学部と共に、この挑戦に参加しませんか。

なぜ連携する必要があるのか

現在、世界では温暖化や、カーボンニュートラル社会の実現などなど、多数の解決しなければならない問題があります。企業・自治体・大学、それぞれが独自で解決をしていくのではなく、それぞれの強みを生かして問題解決に取り組むことが重要です。



島根大学は、地域社会・国際社会の発展と人類の福祉に貢献するため、島根大学が有している知的財産と知的創造力を活用した人材育成、学術研究を通じて、産業界・地方公共団体等との連携を推進しています。

材料エネルギー学部の
ホームページはこちら



金属組織分析/超合金

Metallographic Analysis / Superalloys



鉄 金

森戸 茂一

Morito Shigekazu

金属組織学、鉄鋼材料、金属材料

組織と結晶方位を直接結びつける手法を主に使い、合金に含まれる組織の評価を行ったり新しい評価技術を開発したりしています。



鉄 金 非

ファム・ホアン・アン

Pham Hoang Anh

鉄鋼、Ni基超合金、ナノ粒子、積層造形、その場観察

加工における材料の組織形成過程を解析し制御することを研究しています。高温レーザー顕微鏡、電子顕微鏡を用いて材料の観察、解析に取り組みます。



鉄 非 ソ

榎木 勝徳

Enoki Masanori

計算材料学、状態図、ミクロ組織

計算科学を利用して状態図を作成し、新材料の設計指針を提供します。また材料の物性値を同時に予測して高特性の材料開発に取り組みます。

非破壊検査/超音波

Non-destructive Testing / Ultrasound



鉄 金 エネ

三原 毅

Mihara Tsuyoshi

超音波、非破壊検査、音響素子

主に超音波計測や光計測を使って、各種欠陥の評価方法、製品の品質保証、微視組織の計測・評価手法の開発等に取り組みます。



金 電

辻 俊宏

Tsuji Toshihiro

圧電材料、超音波センサ、非破壊検査

従来の超音波計測法の限界を超えるための圧電センシング技術の研究をしています。材料部材の非破壊検査や製品の品質保証の分野で貢献したいです。

機能性材料

Functional Materials



資 複 無

笹井 亮

Sasai Ryo

水質浄化材料、陰イオン交換体、分子・イオン検知材料、資源回収技術開発

無機層状化合物を基材とした環境浄化・環境モニタリング用の新規材料の研究開発と廃棄物からの貴重資源回収技術開発にも取り組んでいます。



資 複 無

田中 秀和

Tanaka Hidekazu

機能性無機粉体材料、迅速合成プロセス開発、吸着剤粒子、CO2吸着剤、粉体廃棄物の再生利用

水溶液反応により、高い吸着性や反応性をもつ無機粉体材料を安価かつ迅速に合成しています。また、粉体廃棄物の高度再生利用にも取り組んでいます。



非 複 無

尾原 幸治

Ohara Koji

ランダム構造科学、ガラス・アモルファス科学

原子配列が乱れた機能性材料の構造物性を研究しています。ガラス、アモルファスや、それら複合材料分野の材料開発・評価等に取り組めます。



非 複 無

廣井 慧

Hiroi Satoshi

結晶・非晶混合物、乱れた結晶性材料の構造解析

結晶・非晶混合物に対する独自の原子配列の解析技術を駆使し、実材料・実デバイスを解析します。機能材料開発分野での応用を期待しています。

バイオマテリアル

Biomaterials



複 パ 有

森本 展行

Morimoto Nobuyuki

高分子材料、コロイド化学、バイオマテリアル、DDS

両親媒性高分子による自己組織化を利用した機能性コロイド・薬物ナノキャリアの開発を高分子の設計から行っています。



資 複 パ

戸井田 さやか

Toita Sayaka

バイオマテリアル、組織工学、再生医療、医療機器

高分子をベースとしたバイオマテリアル開発を行っています。産学間で医療・食品分野での実用化を目指した材料・技術開発に取り組みたいです。

データサイエンス AI・IoT

Data Science AI・IoT



情 ソ

藤原 融

Fujiwara Toru

符号理論、情報理論、情報セキュリティ

情報系で誤り訂正符号やセキュリティに取り組んできました。材料系の皆様とマテリアルズインフォマティクスの研究にも挑戦したいと思います。



情 ソ

日下 卓也

Kusaka Takuya

情報セキュリティ、IoT、情報理論

精円曲線暗号の強度評価の応用(攻撃含む)、安全なネットワーク、IoT機器活用などコンピュータ応用で貢献します。



情 ソ

阪井 祐太

Sakai Yuta

情報理論、シャノン理論、数理工学、応用数学

データ通信に関わる工学モデルの性能が「どこまで達成可能か」や「どこから達成不可能か」といった理論限界を、数理的に解析しています。

エネルギー/燃料電池

Energy / Fuel Cells



金 エネ

宮本 光貴

Miyamoto Mitsutaka

プラズマ表面相互作用、原子炉・核融合炉材料、微細組織観察、水素挙動

プラズマや高エネルギー粒子線照射下での材料の特性変化(劣化状況、ガス保持など)の実時間その場観察、分析に取り組めます。



鉄 金 資

清水 一道

Shimizu Kazumichi

素形材分野の耐熱・耐摩耗性材料の開発、品質保証

素形材産業の基盤となる鋳鉄・鉄鋼製品を中心として、「高付加価値を追求し続けること」が当研究室の使命です。鋳物シンジケートなども実践しています。



エネ 資 無

八代 圭司

Yashiro Keiji

イオン導電性材料、燃料電池、電解セル、化学センサー、エネルギー変換

環境・エネルギー分野への応用が期待できるイオン導電性材料の開発や評価に取り組んでいます。新分野のイオニクスデバイス開発にも挑戦したいと思います。



エネ 無 ソ

藤崎 貴也

Fujisaki Takaya

燃料電池、全固体電池、イオン伝導性材料、第一原理計算

次世代蓄電池や水素を使った燃料電池の性能向上に向け、計算機による新しいイオン伝導性材料の材料設計の提案、実験による実証を行っています。



産業振興

清水 希容子

Shimizu Kiyoko

地方創生、経済事情

地方創生・産業・経済の視点から、ものづくり、特に素材系の技術開発の重要性を再認識し発信し、産学連携の現場の活性化を目指します。

有機材料

Organic Materials



資 パ 有

崔 允寛

Sai Masahiro

有機合成、有機材料、触媒開発、グリーンケミストリー

有機金属種が関与する新規有機反応や、高活性を有する触媒の開発に取り組んできました。今後は有機材料の開発にも挑戦していきたいです。



資 パ 有

澤野 卓大

Sawano Takahiro

金属触媒、多孔性材料、有機材料、量子化学計算

金属を用いた触媒反応の開発と作った有機物の物性評価を行っています。また、Metal-Organic Frameworksを用いた研究にも取り組んでいます。